

## 第6回綾部市振興計画審議 議事概要

日 時：令和8年3月30日（月）10時00分～11時50分

場 所：あやべ・日東精工アリーナ研修室

出席委員：一瀬健太委員、岩崎裕生委員、梅原和久委員、梅原静代委員、梅原寿夫委員、大石浩明委員、大槻直樹委員、大槻美由紀委員、加藤章広委員、神田一之委員、木枝一子委員、小寺哲朗委員、佐々木清次委員、佐々木幸雄委員、白波瀬清孝委員、白波瀬聡美委員、杉森豊和委員、谷口知弘委員、高倉正明委員、辻井邦夫委員、土田大介委員、林多嘉子委員、帆風佳奈委員、牧野年子委員、山崎清吾委員、吉田博美委員、吉田豊委員

欠席委員：伊豆紀代美委員、大槻匠委員、岡安庄治委員、小寺建樹委員、寺崎友芳委員、波多野隆史委員、増山佳苗委員、渡邊友子委員

綾 部 市：岩本副市長、小林教育長、大槻市長公室長、志賀企画総務部長、立藤市民環境部長、松原福祉部長、四方健康こども部長、大島農林商工部長、朝子定住交流部長、野々垣建設部長、塩見消防長、小林上下水道部長、三本木議会事務局長、村上教育部長、四方財務担当部長

事 務 局：企画政策課 鎌部課長、上田担当長、新川主任、白波瀬主事

記 者：0人

傍 聴：0人

配布資料：次第

【資料1】諮問案の変更（序論について）

【資料2】諮問案の変更（追加施策一覧）

【資料3】諮問案の変更（目標指標見直し一覧）

【資料4】答申案

【資料5】第6次綾部市総合計画後期基本計画＜本編＞（修正案）

【資料5】第6次綾部市総合計画後期基本計画＜資料編＞（修正案）

【資料6】意見に対する対応一覧

【資料7】第5回綾部市振興計画審議会議事録

### 1 開会

### 2 会長あいさつ

- ・委員の皆様におかれましては、年度末のお忙しいところご出席いただきありがとうございます。本日が最後の振興計画審議会の開催となる。これまでの審議会でも出されたご意見等を踏まえた答申案の確認や、新市長の意向を反映した計画案の修正について確認いただきたい。本日もよろしく願いたい。

### 3 協議事項

・ 諮問案の変更について

**委員**：目標指標「自治会加入世帯率」について、地域コミュニティを支える観点から、自治会組織は重要と考える。今回の計画案にも様々な分野で自治会に関する記載もある。加入数減少の傾向は承知しているが、スマート自治会の実証実験や活動支援等、何らかの形で維持・活性化を図るための指標設定を検討すべきではないか。

**担当部長**：削除の理由としては、外国人増加に伴い、外国人の方にも自治会へ加入いただくなど検討していたものの、人口減少社会の中で、自治会加入率を増加させることが困難となっていることから整理した。自治会の重要性は十分認識しており、コミュニティ活動の補助金等、各種支援は継続するが、活動内容と加入率がリンクしにくい面があるため、目標として定めることは困難と判断している。

**委員**：目標指標「地籍調査完了面積」について、京都府の地籍調査実績が全国最下位である。今後推進が必要と考える中で、目標から削除することは行政施策の後退ではないか。例えば低い数値であっても目標を掲げ、確実に進める姿勢を示すべきである。

**担当部長**：地籍調査は1事業に5～6年を要し、スパンが非常に長い。令和12年度を目標年次とする本計画において、現在発注済みの事業完了見込み以外の数値を目標として掲げることは困難であると判断した。

**委員**：今後、増加が見込めないとしても、目標を定めることは重要と考える。

**担当部長**：当初示していた計画案の数値については、現在進行している事業の実績見込みとして計上している。目標としてはそぐわないという整理。目標指標からは削除するものの、施策としては地籍調査を計画的に推進していきたい。

**委員**：目標指標「市民駅伝参加登録チーム数」「二王門登山レース参加登録者数」について、削除する理由を伺いたい。追加指標「(一財)綾部市スポーツ協会に加盟する各協会の登録人数」について、追加した理由を伺いたい。

**担当部長**：削除指標については、スポーツ人口を把握する意図で計上していたものの、個別事業に関する指標であるため整理した。追加指標については、振興計画審議会や議会特別委員会で意見をいただく中で、競技スポーツに関する指標を改めて追加した。

**委員**：スポーツに関わる人口は加盟人数では測れないため、「登録人数」イコール「スポーツ人口」とすることは不十分である。協会主催大会の「参加者数」といった誰もがスポーツに関わっている実態を可視化できる指標への変更を要望する。

**担当部長**：意見を受け止め、指標設定について再考し、スポーツ協会とも調整を行う。

**委員**：地籍調査について、農業の観点から意見したい。例えば、農地バンクの申請書類を作成する際に電子データが充実していないため、事務負担が大きく、所有者確認や境界確定に時間を要している。地籍調査により土地の詳細情報が正確

になることは望ましく、電子データ化についても今後推進していただきたい。

**担当部長**：農林業に関する申請時に、地籍調査が完了している地域については手続きが簡素化できることは認識しているものの、綾部市としては住宅地から優先的に推進している。なお、森林整備については、集積計画を立てずに集積する手法についても検討を始めたところ。今後の課題として検討していきたい。

**委員**：序論「課題4 教育」に関する表現について、「確かな学力を育む」という表現が、学力向上に偏重しているように見える。

**担当部長**：学力向上だけでなく、非認知能力の育成や、不登校、特別支援への対応、心の教育の充実にも努めていく。

**会長**：序論で最重点目標を設定した意図を伺いたい。上林地域の振興を図るための具体的な展望等あれば伺いたい。

**担当部長**：綾部市の「総合戦略」にも一定の目標として掲げており、従来から実施している人口減少の「緩和策」や「適応策」を引き続き実施することに加え、新たなチャレンジとして人口増を目指すという市長の市政方針を示すため設定している。

**担当部長**：市長マニフェストにおいて、上林振興局の設置が挙げられていたが、人口減少が進む上林地域において、水源の里条例のバージョンアップ等を含め地域と対話し、行政としてどのような支援体制がふさわしいか今後検討していきたい。

**会長**：人口減少に歯止めをかけるという表現には違和感がある。緩和を図るといった表現への修正を検討されたい。また上林振興については、組織づくりが先行するのではなく、中身を重視した取組を期待する。

**委員**：追加目標指標の「管路経年化率」の考え方について伺いたい。

**担当部長**：経年化率については、水道管の耐用年数が過ぎた管路の経年化率を把握する指標となる。

**委員**：「スマートシュリンク」の削除と「人口増を目指す」という表現について、人口推計が減少傾向である中での整合性を問いたい。また、目標指標「地区公民館利用件数」の削除について、地域住民活動の結果が可視化できなくなる懸念がある。

**担当部長**：「スマートシュリンク」の考え方を否定するものではないが、新市長のポジティブな姿勢を前面に出すため、チャレンジによる人口増を目指す表現とした。なお、人口推計自体が今後増加に転じるという予測はしていない。

**担当部長**：公民館活動等は数値目標の設定からは外すが、内容の充実には引き続き取り組みたい。

**委員**：目標指標「企業版ふるさと納税件数」を削除する理由を伺いたい。

**担当部長**：企業版は1件あたりの寄附額のばらつきが大きく、件数を目標とすることの意義が薄いため削除した。引き続き、積極的な営業活動により納税額の増加に努める。

・答申案について

**会 長**：部活動の「地域移行」という表現について、文部科学省の方針を受け「地域展開」に変更となっている。表現はどのような扱いとするべきか。

**教 育 長**：表現について「地域展開」に修正していただきたい。

・第6次綾部市総合計画後期基本計画（修正案）について

**委 員**：Jクレジットに関する施策の追記について、前期基本計画策定時にはなかった考えである。今後、排出権取引が本格化する中、農業・林業分野で何らかの記載が必要と考えるため、再度意見として申し上げる。

**会 長**：計画策定に当たっては、市民に対して分かりやすく周知し、市民に対して「見える化」の検討をお願いしたい。

#### 4 閉会

**会 長**：昨年8月の諮問以来、7か月にわたり6回の審議を重ねてきた。委員の尽力に感謝する。市長交代という異例の状況下での策定となったが、委員の意見を盛り込んだ答申を4月16日に市長へ手渡す。綾部市の更なる発展を祈念する。

**副 市 長**：市長交代に伴い、新市長の意向を反映する時間をいただいた。人口減少を最大の課題と捉え、出生数と社会動態の2つの大きな目標を掲げた。前向きでポジティブな計画とするための修正を行った。委員の皆様の精力的な審議に感謝し、6月定例議会への提案に向けて最終調整を行う。

以上